市民１００人大ワークショップ（第２回）　検討結果

Aテーブル

半径５００m以内のまちの課題	私たちにできること	市にサポートしてほしいこと
・防犯、子どもの防犯 ・路駐対策（子供の安全）	・小、中学校で防犯講習の実施 ・セーフティウォッチャーに参加 ・安全な遊び場所の確保 ・交流の機会の創出（飲み会など）	・活動実態を把握し、きちんと評価してほしい。
・高齢化に伴う課題 （老人会の継続難、健康維持の活動、独居のお年寄りの安否確認、電話勧誘など） ・高齢者が安心して暮らせる街づくり	・挨拶活動の促進 ・町内自治会に参加する ・イベントを開催し、参加を促す	・補助金の使用状況について、追って把握してほしい。
・イベント後に駅前にゴミが散乱 ・緑地の活用が不十分	・マナー意識の呼びかけ ・気づいたタイミングでゴミ拾い	・活動の状況を見に来てほしい。
・勉強についていけない児童の対策 ・子育てしやすい街づくり ・子ども会の減少 ・子どもルームの拡充	・地域で子供を育てる意識 ・子育てサークルの結成	・補助金を上手く活用できるようなノウハウの養成

市民１００人大ワークショップ（第２回）　検討結果

Bテーブル

半径５００m以内のまちの課題	私たちにできること	市にサポートしてほしいこと
・少子化 ・子どもの虐待、いじめ ・教育問題 ・子どもを不審者から守る ・貧困問題 ・地元離れ	・不審者情報の共有（SNS などの活用） ・地域内で親同士が集まれるような場所づくり ・人通りの少ない道もパトロールする ・通学路の見守り ・地域の魅力を発信するイベント、地元を意識させる仕組み作り	・諸団体の連携体制づくり（支援） ・公園、病院などの施設整備 ・自治会活動の活性化サポート ・通学路の安全対策 ・地域団体の助成金 ・地域団体への場所の無料提供 ・プッシュ型の情報発信でなく、利用者が聞きたくなるようなしくみ作り ・自由で縛りの無い市役所のイメージアップ ・高齢者の買い物手伝い ・片親支援のしくみづくり
・行事参加の減少 ・若者と高齢者とのつながりの希薄 ・近所づきあいの希薄化 ・行政と市民とのつながりが希薄	・あいさつ運動 ・こどもが騒いでも大目に見る	
・高齢者の孤立、孤独化 ・買い物難民 ・病院への通院難	・高齢者への一言声掛け運動 ・高齢者対象のサロン活動 ・高齢者が外に出やすい環境づくりを考える（世代交流イベントなど）	
・自治会役員の意識の低下 ・自治会に無関心 ・駅のごみ、公園の落書き	・公園やその周辺の美化を考える	

市民１００人大ワークショップ（第２回）　検討結果

Cテーブル

半径５００m以内のまちの課題	私たちにできること	市にサポートしてほしいこと
・商店街のシャッター通り化 ・ベットタウン化してきている ・コミュニティー不足 ・地域イベントの盛り上がりに欠ける ・若い世帯が町内会に加入しない ・高齢化 ・協働意識の希薄 ・学校と地域とのつながりがほとんどない ・町内のゴミステーションが少ない ・防災意識が希薄	・中学生以上の若い人たちに活躍してもらう ・若い人口が住みたいまちづくり ・シャッター通りを利用した「赤ちゃんステーション」の活用 ・同世代で防災意識を共有する （東日本大震災被災者の話を聞くなど） ・美浜区で高校生とコラボしたもちつき	・町の情報をもっと発信してほしい。 ・イベント情報をもっと発信してほしい。 ・高校生と若者の交流を目的としたイベントを増やしてほしい。 ・市立高校を活かして地域とのつながりづくりをしてほしい。
・高校生の自転車マナー ・マナーの価値がそれぞれ違う事	・大人がルールの見本となる	・「犬のふん禁止」の看板を作ってほしい。

市民１００人大ワークショップ（第２回）　検討結果

Dテーブル

半径５００m以内のまちの課題	私たちにできること	市にサポートしてほしいこと
・ごみの不法投棄（２件） ・ごみ屋敷 ・ごみのポイ捨て ・公園のごみ ・ごみの出し方　曜日、分別 ・町内清掃 ・道路のごみが氾濫、草の掃除 ・森田知事と熊谷市長でアピール隊 ・リーダーを尊重する。プラス思考で	・キレイな環境を保つ ・ごみはすぐに回収する ・まず自分の周辺を清掃する ・ボランティアでごみ拾いしましょう ・町内会の一斉清掃をする ・ごみ出しできないお宅（ひとり暮らしなど）のごみ出し ・自宅周りの少し広げた掃除 ・見知らぬ人への声かけ	・千葉レポを知ってもらいたい ・金さえ出せば市の指導もいらない ・定期的な情報交換会を行う ・情報の開示 ・イベントへの公園の使用（火） ・法的なアドバイスを ・座っているスタッフは外へ出せ ・団体と団体をつなぐ ・詳しい情報の提供 ・プロジェクトリーダーにお金をください ・企画立案の能力を身につける ・地域支援事業資金 ３ 年のシバリを作らず継続してほしい ・お金をくれればもっとやる気になるかも！ ・住みよいまちづくり、PR
・街路樹の剪定が遅すぎる。年１回を年２回にしろ ・池の整備　公園的になると良い ・緑地の管理 ・雑草の草刈り ・公園でのペットの毛づくろい ・ペットの鳴き声、散歩 ・のら猫 ・一般市民のモラルの低下、動物の糞尿等の始末が悪い ・不良中学生 ・防犯 ・変質者の出没 ・空き巣がある ・空家 ・道路のいたみ ・路上駐車	・出歩く人を募る ・見回り２人以上 ・近所に関心を持つ　向こう３軒両隣 ・趣味の仲間作り（ラジオ体操とか） ・行政がやるものと勘違いしない ・防犯防災の意識向上 ・セーフティウォッチャーを増やす ・自治会の防犯の取組の協力（見守り、見回り） ・自分から積極的にあいさつを行う ・子供さんと一緒にやる ・自分でやる ・ごほうびを出す ・地域でのコミュニケーションづくり ・自主企画をまちの有志ボランティアで盛り上げて、輪作りをする	

• 団地内の交流が少ない • 交通量の多い通学路 • 近所づきあい • 防災意識が低い　どうすれば協力参加するのか • 災害時の防災体制などを知らない • 防犯隊の結成 • 自主防災組織の結成 • 避難所訓練の参加 • 行政が上目線である • 地域で困っていることを行政主導ですすめる • 自治会の役割が明確ではない • 回覧物が多すぎる • 老齢化 • 周りはお年寄り世帯がほとんどになっている • 役員のなり手 • 年代のバランス • 若者が参加しない • 子供や青年が地域にいない • 団地内に名前と顔が一致する人が数人しかいない • 町内会費 • 地域活動の参加者確保	• 個人情報の範囲内で高齢者の状況確認（声かけ、見守り） • 説明不足の感があるので十分な説明 • 小学校と一緒にやる • 自分の方から声をかけてやさしく！ • 女性の熱意ある人を呼ぶ • 女性の参加を増やす • 団地の集まりには極力参加する • 役員、責任者に手当を出す • 募金を集める • 公共活動をすると楽しい！ • 利益とつながるアイデア • 情熱と１人立つ！スピリット • 予算をくれれば自分たちでやる	

市民１００人大ワークショップ（第２回）　検討結果

Ｅテーブル

半径５００m以内のまちの課題	私たちにできること	市にサポートしてほしいこと
【防犯】 ・不審者の住居侵入が散見される ・磯辺地区は空家が多い ・街灯の設置と電気代 ・木立が防犯灯の光を遮り不安	・不審者にも声を掛ける ・防犯パトロールを実施する ・近所の人と顔見知りになる ・挨拶、声掛け ・防犯街灯の設置	・警察のパトロールの強化 ・空き巣情報の公開 ・防犯カメラ、市の補助 ・セコム、ALSOK（をつける？）
【公園】 ・自然の少なさ ・動物公園の駐車場	・自治会が進んでボランティアとして環境整備	
【自治会】 ・集合住宅が多くなり入会してもらえない ・自治会長が１年交代 ・自治会への参画意識が低い（特に若手） ・各団体の役員が固定化している	・とにかく入会してもらう ・自分のこととして自治会を考える ・（自治会役員を）給料制にする	
【防災】 ・防災対策（避難所運営委員会の早期立ち上げ）	・各自治会において自主防災組織を編成すること ・避難所運営活動を年１０回は実施すべき（自治会）	
【街で困っていること】 ・町内道路でのスピードの出しすぎ ・遊歩道の自転車通行		・国道３５７市役所付近の地下道の完成

市民１００人大ワークショップ（第２回）　検討結果

Ｆテーブル

半径５００m以内のまちの課題	私たちにできること	市にサポートしてほしいこと
・特定の人が常に参加しない ・出てこない家と出てくる家が完全に分かれている ・ﾃﾝﾃﾞｺが当たり前になると、高齢者に対するｱﾌﾟﾛｰﾁが難しくなっている ・町内会の高齢化によるパワーダウン ・街路灯が不足している ・裏の道がちょっと暗い ・泥棒が多い ・危険情報の周知とプライバシー ・街の木が伸びすぎている ・信号がＬＥＤ化してタ方とか見づらい ・自転車置き場倒れないように ・階段、お年寄りが難儀 ・歩道橋がゆれる ・アパート、駐車場が多くなる ・近所の挨拶 ・猫のふん、餌付け ・地震のとき（独居・共働き等）安全確認 ・ごみの出し方 ・カラスがごみをあさる ・喫煙所の煙の配慮 ・駅廻り、バスロータリーとか、昔ながらの店舗	・町内会費の使い方 ・自治会いったん解散！ ・独居のお年寄り、シルバー人材センターの tel… ・独居のお年寄り、ALOSK のシステム無料 ・「無事です」ってマグネットを玄関に貼る ・警察との協力、情報共有 ・時間帯で会う人が決まってしまう ・ボランティアに参加する ・あいさつ、声を掛ける ・掲示板の活用「餌やりしないで」、直接は言いづらいので防水仕様の張り紙・札を掲げる ・町内会で保護して里親探し ・ネットを取り寄せ、縫い付け丈夫にする ・当番制 ・使っている人が当番制にして ・古いお店の場合は度々起きる困難を店の人に報告してみる ・商店街のボランティア	・異世代交流の場を作ってほしい ・学校での異世代交流プログラム ・地元での交流、スポーツ他 ・ボランティア点数制、視覚化 ・地域安全課の安全安心係へ早速申請する ・敬老会の信物のソフト提供をしてほしい ・自治会、町内会での公的買い物の補助 ・掲示板を新しくする ・猫（奄美ハブ１匹有料で引き取る）個人でなく町内会費として補助 ・捕まえて里親を探す ・色々な案を考え提示してもらう ・行政から何個か提案してもらう ・施策を多く出すよりは、地味であっても１点でも住民の手で日本一人を作る目標を計画して市民を引っ張ってほしい ・レクの指導者の派遣 ・千葉常胤、縄文式文化、大賀ハスをＰＲしてほしい（本や映画） ・ホームページネットを使った管理、補助金、自治会アプリ、ＳＮＳ

市民１００人大ワークショップ（第２回）　検討結果

Gテーブル

半径５００m以内のまちの課題	私たちにできること	市にサポートしてほしいこと
【市民としての意識の低さ】 ・誰が住んでいるか分からない ・自治会の硬直化 ・町内会役員のなり手が少ない ・地域のことを知らない人が多い ・急な坂道を急スピード ・朝、信号無視 ・災害対策、村田川、津波対策 ・隣近所の大切さ、どう出すか	・長い期間でコミュニケーションをとる ・声掛けをしていく ・楽しい空間をつくる ・情報を具体的に周知する ・子ども等の感想を形にする	
【ごみ問題】 ・タバコポイ捨て ・公園の落ち葉 ・ゴミ出しの不備	・ごみの集積所を減らす	
【防災関連】 ・災害時での年老いた人、「逃げない」意識をどのようにかえればいいか	・安全な場所を共有する ・地域の印刷会社の力を使う ・情報を様々な形で共有する ・個人個人の安全マップを作成	
・近所づきあいのなさ	・＋αのあいさつ	
・地域によって施設に差がある		

市民１００人大ワークショップ（第２回）　検討結果

Hテーブル

半径５００m以内のまちの課題	私たちにできること	市にサポートしてほしいこと
・高齢化 ・空家が多い ・500 ㎡ 340 世帯 350 世帯 ・防犯 ・若い人が越してこない ・地域のことを知らない ・リーダーがいないと ・役割分担を明確に ・防災 ・若い人が独立して出ていく	・地域運動会に防災訓練 ・子供や学校を巻き込む ・役員交代期間　長すぎ短すぎは良くない ・リーダーシップの質が年代で異なる　若いと複数 ・消防の人が地域の輪に入らない ・祭りに防災訓練 ・若い人の参加は時間の問題 ・ボランティアグループ 25 年イベント ・東日本大震災までは絵に描いたもち ・大学ボランティア単位化 ・愛着がない参加しない ・助け合いの会 ・自治会に入っていないひとはアパートが多い ・H16 どろぼう急増 ・防犯パトロール ・夜ボランティア 10 日に１回 ・昼全員参加パトロール ・参加者を募る ・防犯カメラをつけよう９台 ・防犯カメラ設置ガイドラインを市に提言	・リーダーを派遣、養成 ・包括ケアサポートの充実 ・新しい動きに対する支援 ・コーディネーター　区に 2 人でなくもっと増やす ・よい取組を紹介していく ・若い人とのマッチングの場←いらない自分でやるパターンも ・こどもルームの時間延長

市民１００人大ワークショップ（第２回）　検討結果

Ｉテーブル

半径５００m以内のまちの課題	私たちにできること	市にサポートしてほしいこと
町内自治会 ・町内自治会にマンションやアパートの住人をどのように取り入れるか。 ・町内自治会へは住んでいる人全員が加入して欲しい。 ・自治会長が頑張りすぎるとその人任せになってしまう。 ・町内の人が町内自治会をどのように思っているか。 ・小中高大に町内自治会のことを思って欲しい。 ・若い人達の気持ちをどのように町内自治会に向けるか。 ・町内自治会の魅力をどのように出すか。 ・イベントをやっても「加入していない人には参加させるな」といった声もある。 ・次の人を育てることが難しい。 ・輪番制（１年交代）のところが多い。	・マンションやアパートの大家に加入してもらう。 ・町内自治会長を３人の共同代表のようにする。	
子ども ・子どもの声が聞こえない。 ・子どもが外で遊ぶことが少なくなっている。 ・子どもが塾などで忙しい。		
会話・コミュニケーション ・近所の人が立ち話をすることが少ない。 ・「集まる場」に同じ人ばかり集まってしまう（参加しづらい）。	・町内自治会の集会所を使う。 ・井戸端会議の「井戸」の代わりになる何かを。	

環境 ・道路などの公共の場所にタバコの吸いがらや空カンなどゴミが放置されている。 ・犬のフンが放置されている。 ・交差点の右折レーン（分離帯）にポイ捨てが多い。 ・管理者が異なる（国、県、市など）のですぐに対応できない。	・防犯パトロールの集合待ちの間になら拾える ・拾うことはいいが、自宅に持ち帰るのか？ ・防犯パトロールをしながらゴミ拾い。	・ドライバーに呼びかける。 ・ドライバーに小さなゴミ袋を配る。 ・ゴミが多い所にゴミ箱を設置する。

市民１００人大ワークショップ（第２回）　検討結果

Ｊテーブル

半径５００m以内のまちの課題	私たちにできること	市にサポートしてほしいこと
町内自治会 ・　口は出すが手は出さない。 ・　オレは偉い！？ ・　気持ち良く参加して。 ・　やるとたたかれる。 ・　ボス！偉い人ばかり。 ・　サークルもお金がかかる。	・　話し合う。 ・　つながり。 ・　人材発掘。 ・　自主財源をたくわえる。 ・　やさしい言葉。 ・　飲みにケーション。 ・　自治会を作る。 ・　笑顔。 ・　お茶会。 ・　ゆっくりしゃべる。 ・　月イチお茶会。 ・　グチは言わない。 ・　誰でもバス旅行。 ・　言うことは言う。 ・　公園掃除で参加権。	・　会計の育成。 ・　バスの無料貸し出しで社会見学。
介護施設 ・　有料！高い！！ ・　友達がいない。	・　友達に関心を持つ。	・　介護施設と保育所を一緒に。 ・　同じ建物内で多世代交流。 ・　経費のかからない介護施設。 ・　高齢化率が高い所に保育所を。
ふるさと祭り ・　実行委員会。 ・　皆が納得するには。 ・　新鮮味がなくなる。	・　大学をまきこむ。 ・　子どもを巻き込む。 ・　ふるさと祭りにさそう。 ・　カラオケ大会。	・　おまつりと防災訓練を一緒に。 ・　シャッター通り活用。

まちづくり ・　ワークショップ続けたい。		・　ワークショップ定期的に。

市民１００人大ワークショップ（第２回）　検討結果

Kテーブル

半径５００m以内のまちの課題	私たちにできること	市にサポートしてほしいこと
不審者情報等の共有 ・　不審者情報が速やかに共有されない。	・　SNS 等今のニーズに合わせた情報共有。 ・　見守り隊の活用、保育園、学校などの連携。 ・　地域掲示板の電子化。 ・　自治会の電話連絡網。	・　ワンコインバスの充実。 ・　街路灯の設置。 ・　不審者情報や起こった事件など千葉テレビでピンポンと音つきでお知らせ。 ・　放送の増加。 ・　新たな専用サイト開設。 ・　Tweet の発信。
世代間コミュニケーション ・　年齢によるコミュニケーション不足。 ・　体育イベントへの高齢者参加者数減。	・　ワークショップ等の対話の機会を増やす。 ・　若者のボランティアの積極参加。 ・　集会所あれば定期的に多世代交流の場を開く。 ・　公民館の自主運営。 ・　ひだまり空き家利用。 ・　イベントの情報を自ら集める。 ・　地域のイベントに積極的に参加。	・　イベント呼びかけ拡大。 ・　イベント情報の HP 発信。 ・　防災訓練やお祭りの情報を中学高校大学に流し、大学などはボランティアを推進する。
ゴミ問題 ・　ゴミ収集場所のカラス。	・　カラス対策に成果のあった他市などのアイデアを探す。 ・　ゴミ捨て場の交代での見回り活動。 ・　朝決められた時間にゴミを出す。	・　ゴミの収集時間の検討。 ・　ゴミ収集車の定時回収（出来るだけ）。 ・　個別回収をモデル地区を設定してやってみてほしい。 ・　ゴミの収集ルールの改善。

市民１００人大ワークショップ（第２回）　検討結果

Ｌテーブル

半径５００m以内のまちの課題	私たちにできること	市にサポートしてほしいこと
高齢者福祉 ・若年性痴呆の方がいる ・ふれあいサロン（老人のための）いかにしたら出席者が増やせるか ・年寄りが多く一人住まいの方が多い		
児童福祉 ・虐待 ・189 に TEL	・189 に TEL	
・町内会等形骸化している ・町内会、自治会に参加者が少ない		
ごみ ・ごみの出し方、不法投棄 ・ごみ出しの日が守られていない	・見守るルール作り	
環境 ・騒音問題		
道 ・案内板が少ない ・千葉駅近くの冠水 ・避難場所がわからない		道路関係全般

• 駅周辺以外の公園や施設など全く知らない、知る機会がない • 歩道がガタガタしている • 歩道がせまい • 通行禁止の標識見えづらい • 歩行者と自転車がぶつかりそう • 町名番地がわかりづらい		
防犯 • 町内の電柱の明かりが少ない • 防犯灯が少ない • 暗い道がある • 空き巣が出る		
コミュニティ • 何があるか知らない（家、店、企業、公共施設など） • 近所の人を知らない • 世代間の交流がない • 活動の核となるコーディネーターがいない • コミュニティ活動の場がない	• 活動 PR（若い人に） • 自分がやりたいことを伝える→空気を作る	
その他 • たばこのマナー • 公園の木の名前がわからない • 夏場（6～9 月）蚊が発生する • 近くにコンビニがない		

市民１００人大ワークショップ（第２回）　検討結果

Mテーブル

半径５００m以内のまちの課題	私たちにできること	市にサポートしてほしいこと
道路関係 ・道路や植栽のメンテが不十分 ・自転車利用者が加害者・被害者になる恐れがある ・安全対策について不安がある	・支障のない範囲でこまめに手入れをしよう ・千葉レポを使い投稿しよう	・自転車レーンの統一的な整備 ・自転車用安全教育の実施
ゴミ関係 ・ルール違反が見受けられる	・カラス除けネットの申請くらいならできる ・ごみの出し方チラシと袋の配布を行う	
子ども関係 ・子どもの居場所や遊び場がない ・子ども会に人が集まらない ・子どもと地域の人が関わる機会が不足している		
地域情報共有、コミュニケーション関係 ・近所の交流がない、イベントを知らない	・まずは知らない人にもあいさつしよう ・他の子でも叱ろう ・ただのウォーキングをするのではなく、防犯グッズを身に着けよう	・子育てサポーターのようなものに登録できるといい ・自治会が情報発信できるよう、HP の作り方講習を行ってほしい ・広報の配布方法を見直し、地域の情報が届くようにしてほしい
地域活動団体（町内自治会）関係 ・役員のなり手がいない ・加入者を増やせない ・退職者を取り込むことができていない	・加入者にはゴミ袋を配るなど、「モノで釣る」のも方法としては有効である	・ボランティアとして活動するメリットとして、ポイントの付与制度を作ってはどうか ・退職者を「アドバイザー」と位置付け、地位を与えおだてながら地域活動に参加してもらえるアドバイザー制度を作ってはどうか

市民１００人大ワークショップ（第２回）　検討結果

Nテーブル

半径５００m以内のまちの課題	私たちにできること	市にサポートしてほしいこと
• 近所の方でも名前、顔を知らない人が多い。 • すれ違ってもあいさつしない。 • 災害時に助け合えるか心配。 • 夜になると暗い、人通りが少ない。	• 掃除などの町会行事で意識的に名前を呼んで話しかけ、名前を覚える。 • 自分から積極的に挨拶する。関心を持つ。	• 街灯の設置。
• 子どもが遊ぶところが少ない。 • 子どもが経験できることに格差がある。 • 学校で出る音（吹奏楽など）への苦情がでる。	• 空き家を活用する。 • クレーマーに積極的に挨拶して話かける。いつの間にか考えを変えさせる。	
• 空き家が増えてきた。 • 空き家に雑草がはびこっている。枝が伸びて危ない。	• 近所の有志が草を刈る。 • 空き家を子どもの居場所として活用する。地域のお年寄りが見守ることで、お年寄りの居場所にする。	• 個人宅の枝を切ることを認めてほしい。 • 行政が空き家を借りて、ＮＰＯ等に貸すなど、仲介してほしい。
• 道路が狭い、ひびがある。 • 道路わきに雑草がある。路上にゴミ、落ち葉が散乱。 • 街路樹の繁茂、小学校の樹木の整備。公園の芝が伸びている、公園のごみ箱が散乱している。 • 行政の空白が見られる。	• ちばレポで報告。 • 自ら草を刈る。	• ちばレポで報告したものに対処。 • 草を刈った後の始末。 • 広域など、手が届かないところは行政にお願いしたい。 • 行政の管轄をはっきりさせ、責任を果たしてほしい。 • 行政の硬直化を何とかしてほしい。
（全体を通して）	• まず自ら行動する。 • 自分事として考える。 • お互いに尊重し、認め合う。	

市民１００人大ワークショップ（第２回）　検討結果

Oテーブル

半径５００m以内のまちの課題	私たちにできること	市にサポートしてほしいこと
地域での女性の活躍関係 ・女性の意見が通りにくい（特に防災関係）	・正副会長で性別を変える	・女性副市長を誕生させてほしい ・女性の能力を高めるため、講座を開きサポートしてほしい
		その他意見・要望 ・オリンピックに向け、千葉市を訪れる人に」積極的に話しかける市民が多い街になりたい ・子どもが巣立った後の戸建の「空き部屋」を地域活動の拠点として活用するため、行政が間に入ってほしい ・高齢者のそれぞれに合った活動の場を提供してほしい。 ・自治会のクラブ活動を魅力あるものにしてほしい

市民１００人大ワークショップ（第２回）　検討結果

Ｐテーブル

半径５００m以内のまちの課題	私たちにできること	市にサポートしてほしいこと
• 国籍の多様化。 • 街灯 • 高齢者 • 駐車場 • 小さい公園しかない • 空き家が多くなってきた。 • 防災訓練の参加が年々少なくなった • 歩道の凹み • 日常生活のサポート • ごみのマナー • 休日の急病 • 自治会の入り方がわからない	• 井戸端会議 • ワークライフバランス • シニアが元気でいること • 婚活 • 声かけ	• シニアの活動の場を提供する窓口を作ろう • 保育所にシニアの方を登録して児童を時間で預けられるように。 • 場のセッティング・きっかけ

市民１００人大ワークショップ（第２回）　検討結果

Qテーブル

半径５００m以内のまちの課題	私たちにできること	市にサポートしてほしいこと
【道路関係】 ・　信号のつけ方 ・　歩道のタイルで浮いているものがある ・　歩行者と車の距離	・　チバレポを活用する	・　自転車専用レーンを作る。
【自治会・地域コミュニティ関係】 ・　自治会加入率が低い ・　役員選出を順番性にしたことの弊害 ・　役員任期１年総入替、経験者不足 ・　近所付き合いの希薄化 ・　役員のなり手がいない ・　リーダー・当事者意識が薄い ・　町内会の合併問題 ・　活動資金不足	・　近隣の町内会にたのむ ・　近所のクレーマーの調整を市にたのむ ・　連合会が対応する ・　他の地域の方に（自治会の事等）相談する。 ・　自治会 ・　20 代～40 代若手の育成 ・　中央区⇒市役所と話し合う	・　的確な回答が欲しい
【高齢者関係】 ・　老人会組織がない ・　高齢者見回りがこれから心配 ・　住民の高齢化 ・　独居老人問題		
【防犯・防災関係】 ・　防犯パトロールの体制がない ・　震災発生時の共助体制の作り方 ・　震災時の対応に不安 ・　青パト活用方法	・　市に指導部門あり	

• 不審者情報の共有化		
【ゴミ】 • 公園のゴミ • ごみの不法投棄	• 公園事務所に連絡する • 環境事業所に連絡する • 土木事務所に連絡する • ごみの分別をする。 • 歩道の花壇整備 • 低木の剪定	
【その他】 • 市民主役と現議員との関係（？） • 小学校の通学路の変更について • 商店街の活性化	• 市の窓口を調査	

市民１００人大ワークショップ（第２回）　検討結果

Rテーブル

半径５００m以内のまちの課題	私たちにできること	市にサポートしてほしいこと
【高齢化】 ・　独居老人対策 ・　団地の高齢化（人も建物も）	・　高齢者どうしだけでなく若者・こども世代も含めた交流イベントを！ ・　⇒保育⇒宅配⇒サークル ・　地域ニーズの集約⇒ビジネス化⇒ICT 利用	・　公民館が交流イベントを ・　様々な年齢層が交流できるイベントの開催 ・　中高生と高齢者らの交流イベント
【コミュニティ】 ・　隣近所を知らない（知る機会もない） ・　コミュニティの希薄化 ・　地域の役職のなり手がいない	・　子どものうちから地域へ。 ・　まずは隣近所で挨拶！	・　新しい人が地域に入りやすい仕組みづくりを ・　コミュニティ活動への支援（活動場所の提供等）
【若者・子ども】 ・　若者の地域への参加不足 ・　学区が適当でない。近くて安全なところに通えない。 ・　こどもの遊ぶところが少ない ・　若者がどんどん減っている（魅力低下）	・　子どもが必要な遊ぶ場所等を提供する。 ・　若者同士で地域活動への参加呼びかけ	・　安全で誰でも利用できる公園を増やす
【ゴミ】 ・　ゴミの持ち去り（特に不燃ごみ）	・外国語でもゴミだしの案内をつける	・ゴミのルール違反者への処罰
【情報】 ・　案内板がない ・　行政情報があまり伝わってこない		・市の HP の改善（今回の WS もトップに載せるなど） ・案内板の工夫。デザインに優れた統一されたもの
【商業・買い物】 ・　千葉駅前の賑わいが少ない	・　高齢者の IT 教育	・　IT 機材の購入支援（買い物弱者対策）

• 近所のお店がどんどんなくなり困る • 電気が足りないと言っているのに、コンビニや自販機がバンバンある。 • 買い物の便が悪い	• 近所の店でなるべく買い物をする • 無駄使いの電気がある自販機を使わない。 • 自販機は使わない	
【災害】 • 液状化（地震のときはキケン・・・） • 防災無線		• 市が許可しない。
【住宅】 • 空き家対策 • 団地にはエレベーターがない。 • ごみ屋敷問題	• 若い人にお店を使って何かしてもらう？ • 空き家の利用⇒子供の共同保育⇒高齢者のつどい • 空き家の有効活用を提案する。	• 団地のリノベーション（再開発手法） • 税金操作で使っていない店・家をなくす工夫 • 空き家バンク・リフォームの補助
【道路・車】 • 道路の名称がかってに変えられていた • 電線が無秩序にはられていて美しくない • 電信柱が歩道にはみ出て歩きにくい • きちんとした歩道がない • いつも混む道路を改善してもらえない • 道路標識が古くみえにくい • 渋滞の発生（駅前） • 渋滞が固定化してる • 自●●道路がせまくて危険 • きちんとした歩道がない	• 若い人が高齢者に IT 教育 • チバレポで地域の不便を送る・知らせる • 渋滞個所には車で行かない • 混んでいるところに来るまでいかない • 自分で時間や混み具合を調査して市に伝える	• 道路渋滞情報のリアルタイム発信 • 市民ニーズをふまえた道路整備の実施 • 街の情報はどんどん知らせる • 道路整備 • 空き家対策条例